

事務事業マネジメントシート (21年度実績と22年度計画)

22年度予算確定後 平成 22 年 3 月 26 日 作成
 21年度決算把握後 平成 22 年 月 日 作成

事務事業名		解放子ども会保護者会活動支援事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト 関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断 課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革 プラン関連	
総合 計画 体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	教育委員会事務局	課長名 財津 幸泰	
	施策	21	人権が尊重される社会づくり			所属課	人権啓発教育課	担当者名 後藤 章博	
	基本事業	71	人権尊重についての理解の促進			所属班	啓発教育班	(内線) 2427	
予算科目		会計	款	項	目	事業連番	法令根拠	成果優先度評価結果	11
		1	10	5	4	10862		コスト削減優先度評価結果	6
終了、開始年度		<input checked="" type="checkbox"/> 21年度で終了 <input type="checkbox"/> 22年度から開始		事業期間		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)			

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	解放子ども会会員の保護者で構成。保護者会代表者会、全体会の開催。 その他、各種行事の計画、準備など。 平成10年に解放子ども会サポートを目的に保護者により結成された。
【業務の流れ】	解放子ども会の年間計画、学習内容、学校での様子等を会議で話し合う。 スポーツ交流会、団結もちつきの運営準備をおこなう。
【主な予算費目】	需用費
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	特になし。

1 現状把握の部(DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動) 21年度実績(21年度に行った主な活動)(DO)
 団結もちつきの準備、運営等を行った。

22年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)

④活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位)	→ ア 会議開催回数	回	イ
②対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	解放子ども会会員の保護者	⑤対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位)	→ ア 解放子ども会会員の保護者数
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	解放子ども会の運営がスムーズになる。	⑥成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位)	→ ア 会議への参加者数
			イ 行事への参加者数

*⑥成果指標設定の理由と平成22年度目標値設定の根拠
 会議、行事へ一人でも多くの人が参加することで、解放子ども会の運営をスムーズに出来るようになる。

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	19年度 実績(決算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	21年度 実績(決算)	22年度 目標(当初予算)	23年度 予定	24年度 見込	
④ 活動指標	ア	回	5	3	5	5	0	0	0	
	イ									
⑤ 対象指標	ア	世帯	26	26	26	26	0	0	0	
	イ									
⑥ 成果指標	ア	人	60	40	60	60	0	0	0	
	イ	人	35	35	40	50	0	0	0	
投資 入 量	事業 内 訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
	人 件 費	一般財源	千円	16	18	20	17	0	0	0
		(A) 事業費計	千円	16	18	20	17	0	0	0
	(A)のうち指定経費	千円								
	(A)のうち時間外、特勤	千円								
	正規職員従事人数	人	3	4	3	5	0	0		
	延べ業務時間	時間	74	104	80	100	0	0		
	(B)人件費計	千円	294	416	318	398	0	0	0	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	310	434	338	415	0	0	0	

総トータルコスト 全体計画 ~ 年度
(期間限定複数年度のみ記載)
0
0
0

谷志市

事務事業名	解放子ども会保護者会活動支援事業	所属部	教育委員会事務局	所属課	人権啓発教育課
-------	------------------	-----	----------	-----	---------

2 評価の部 (SEE)

*原則は21年度の事後評価、ただし複数年度事業は21年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①21年度目標達成度評価 事務事業の前年度実績は前年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input type="checkbox"/> 達成した	<input checked="" type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】 ↷
	解放子ども会会員数の減少により会議、行事への参加が役員のみになっている。		
有効性評価	②22年度目標達成見込み 事務事業の本年度目標値に対して本年度の見込みはついているか？	<input type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 ↷
	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになっていないか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 ↷
効率性評価	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 ↷
	解放子ども会の事業と解放子ども会保護者会事業と統合可能であるため、平成22年度より統合する。		
公平性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷
	解放子ども会学習会開催業務と統合。		
役割分担評価	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷
	解放子ども会学習会開催業務と統合。		
役割分担評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 ↷
	解放子ども会の参加者は、市内の児童・生徒であり、差別に負けない力の育成をめざし学習を行っている。その会員の保護者のサポートにより解放子ども会の成果の向上が図れるが、事業内容を再検討する。		
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事務事業のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行出来ないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 ↷
	地域住民が主体となり行う行事については、地域で行なっていく。		

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

解放子ども会保護者会で開催する「団結もちつき」に要する経費を予算化して支出してきた。保護者会主体でやっていく事業であり、必要経費については、地元が負担をしていく方向に進めていく必要がある。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可

- 廃止 休止 目的再設定 事業統廃合・連携 事業のやり方改善(有効性改善)
 事業のやり方改善(効率性改善) 事業のやり方改善(公平性改善)
 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)

平成22年度より解放子ども会事業であるため、解放子ども会学習会開催事業と統合。

(2) 改革・改善による期待成果
(廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持			
	低下			

(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策
役員以外の保護者への参加の呼びかけ等が課題である。